

「社会脳」

— 脳 神 経 科 学 か ら み る 社 会 —

近年、非侵襲的な計測技術の発展により、ヒトの脳活動をリアルタイムに記録することが可能となり、脳神経科学と教育、経済学、政治学、美学などの人文社会科学領域とが急速に結びつきを強めています。

「社会脳研究」と呼ばれるこれら一連の研究は、今までにない知見を続々と発見し、新たな人間像と社会像を打ち立てつつあります。

本フォーラムでは3名の専門家を迎え、この領域の最新のトピックスや、今後の脳科学と社会との関わりなどを語っていただきます。

日時：2011年9月5日(月) 18:30～

会場：八重洲ブックセンター本店 8F ギャラリー



佐倉 統

東京大学
大学院情報学環 教授

【略 歴】

1960年東京生まれ。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。三菱化成生命科学研究所、横浜国立大学経営学部、ドイツ・フライブルク大学情報社会研究所を経て、2000年に東京大学大学院情報学環助教授。2007年より現職。

【専 門】

進化生物学と社会、科学技術社会論、科学コミュニケーション論、脳神経倫理学

【著 書】

『現代思想としての環境問題』（中公新書）、『進化論の挑戦』（角川文庫）、『わたしたちはどこから来てどこへ行くのか?』（ブロンズ新社／中公文庫）、『進化論という考えかた』（講談社現代新書）、『科学の横道』（中公新書）など。



安藤 寿康

慶應義塾大学
文学部人間関係学系
教育学専攻 教授

【略 歴】

1958年生まれ。慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学大学院社会学研究科教育学専攻を経て現職。2008年より慶應義塾大学ふたご行動発達研究センター長。博士（教育学）。

【専 門】

行動遺伝学、教育心理学

【受賞歴】

武見奨励賞（2007年）

【著 書】

『遺伝と教育：人間行動遺伝学的アプローチ』（風間書房、1999）、『心はどのように遺伝するか：双生児が語る新しい遺伝観』（講談社ブルーバックス、講談社、2000）など。



藤井 直敬

理化学研究所
脳科学総合研究センター
適応知性研究チーム PI

【略 歴】

1965年、広島生まれ。1991年、東北大学医学部卒業。同大学医学部眼科学教室にて初期研修後、同大学大学院に入学。1997年、博士号取得。1998年、MIT（マサチューセッツ工科大学）McGovern Institute Graybiel Labにて研究員。2004年、理化学研究所象徴概念発達研究チーム副チームリーダー。2008年より現職。

【著 書】

『予想脳』、『脳研究の最前線（下巻）』、『つながる脳』（第63回毎日出版文化賞受賞）、『ソーシャルブレインズ入門』など。

申込概要

募集人員： 80名（申込先着順）※定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費： 無料

申込方法： 下記申込書に必要事項明記の上、株式会社エヌ・ティー・エスまでメールまたはFAXにてお申込み下さい。

主催：八重洲ブックセンター

申込用紙

株式会社エヌ・ティー・エス メール：eigy@nts-book.co.jp FAX：03-3814-9152

生物の科学遺伝 特集「社会脳」 発売記念フォーラム 「社会脳」—脳神経科学からみる社会—

2011年9月5日(月) 18:30～

ご氏名	フリガナ	電話番号

※お預かりした個人情報（お名前・お電話番号）は、お申し込みの講演会が中止、もしくは日時変更になった場合の御連絡のみに使用いたします。